

木馬会会報 (第52号)

＊オークス特集＊



96/05/24

～木馬達の予想～

本誌 栄蔵の1番弟子 T P

オークス

◎…ナナヨーストーム ○…エアグルーヴ ▲…カネトシシェーバー

△…エリモシック、マックスロゼ、ノースサンデー、ファイトガリバー

～予想者の屁理屈～

よく競馬雑誌に過去10年のデータという形で、過去10年連対馬20頭のデータ分析をしているが、この中で、20頭に例外なく当てはまるものだけは参考にすることになっている。今年のオークスの場合それに該当するのは以下の3点。

①「2月以降デビューの連対馬なし。」

②「桜花賞出走馬か、2000m以上のレースで連対している。」

③「2ヶ月以上の休養馬の連対なし。」

1番人気が予想されるエアグルーヴは②③に該当し、軸にはできない。しかし、十分追っているので、プリンシパルSで圧勝したダンスインザダークの例もあることだし今回の相手ならと思って対抗。

エリモシックは①に該当し、且つ初出走以来馬体重が減り続けている(16キロ減)。元々体質の弱いダンシングブレーヴ産駒。前走時のいれ込み等を勘案して大きく崩れる可能性まである。前走よく3着まで来たというが、出遅れ癖、不器用だから3着までしか来れないという見方もできる。

今年のオークスは何となくオグリローマンが桜花賞を勝った年と似ているような気がする。万馬券の桜花賞、オークスでは桜花賞上位組みが総崩れ。そしてその年のオークス馬・チョウカイキャロルにダブルのがナナヨーストームである。オークス1本に絞ったローテーション。前走は重めの仕上げ。どうにも地味な存在なのだが、1番2着にくる確率が高そうなのがこの馬と見た。

さて、単穴にはカネトシシェーバーを抜擢。リンドシェーバーはアリダー産駒、母の父がミルジョージで先行してのしぶとさはかなりのもの。追い込み馬が多く、人気馬に不安があるので、よもやとも思える。マックスロゼは血統的にどうみても短距離向きだが、堅実に追い込む脚があり、一昨年短距離血統といわれながら追い込んできたゴールドデンジャックとダブる面がある。ノースサンデーはいつも自分の力を出すサンデーサイレンス産駒。G Iでは3着が精一杯とも思うが、他の馬の凡走に助けられることも。ファイトガリバーは血統的には2400は大丈夫とは思いますが、デビュー以来の24キロ減は大いに気になる。因みにメイショウヤエガキは掛かり癖があること、前走後疲れが出たこと、底力のないクリエイター産駒で、入着が良いところか。リトルオードリーは絶好調の桜花賞であるの惨敗ぶりでは？

さて、今週の提言

ドバイで腕皮石橋守

先週は高松宮杯の1000円のみだが1点買いで当てたので回収率アップ。現在の回収率111.8%。

“へな”ってゴメンネ

オークス

◎…ナナヨーストーム ○…エアグルーヴ

▲…エリモシック ファイトガリバー

…“へな”の理屈…

センターライジングも回避してしまったし、はっきりいって全然わかりません。“武・横典・岡部”の最高トリオで◎○▲にしようかとも考えましたが、これでは“へな”の名がすたるので止めました。

調子の良さと安定感、距離・コース適正を考えると、今の段階で一番本命に相応しいのはナナヨーストームだと判断し◎を打ちます。正直に言うところこれといって強調材料があるわけではありません。でも、順調度を欠き、間があいているような馬や、とてつもなく不器用で常に最後方からしか競馬のできない馬、距離に疑問のある馬たちに比べたら、やはりこの馬しかいないでしょう。ライプリマウントというスーパーホースに巡り合い、海外遠征も経験し、騎手としてひと回りもふた回りも成長した石橋君ならば重圧にも負けずにやってくれるにちがいありません。初?のG I制覇に向け視界良好といったところでしょうか。

桜花賞組なら1着3着の田原ファイトと横典ノース、そして1番人気だった佐藤オードリーでしょう。しかし、全馬に共通していえるのは距離不安があるということ。そんなもの実際に走ってみなければわからないのですが、血がかなりのウェートを占める“競馬”において、ナリタタイセイやノースショアといった兄弟馬たちの実績を考えるとやはり不安にならざるをえません。リトルも今までの走りっぷりや430台の体を見るとやはり不安でしょう。桜花賞組の活躍するオークスだけに恐いことは恐いですが、大きな信頼はおきにくい。その中でも1頭選ぶとすればやはり天才田原ファイトガリバーになるでしょうか。

今回は上記4頭のBOX買い4週連続的中を狙います。ご期待ください。

四国の井崎

T P氏の高松宮杯予想はパーフェクトでお見事！これに対し私はG 1 4連敗（木馬会予想は6連敗）。本命が連対せず連下同士で決まる傾向にある。得意の5の目は完全成立も本命がこける取れません。でもつらいなー。天皇賞もNHK Cも高松宮杯もBOXならの中だった。この傾向は他の一般レースでもはっきり出ている。ということでオークス、ダービーは4頭BOX作戦でいくことにします。

オークス

◎…エリモシック ○…エアグルーヴ ▲…ナナヨーストーム ▲…ロゼカラー

最近桜花賞直行組が好成績を上げているが、今年はアカン。1400mのアネモネ賞組主体であった結果は、チューリップ賞組が出走しなかったためである。ファイトガリバーには桜花賞でお世話になったが、母系トライバルチーフでは無理。全兄のナリタタイセイもダービーで惨敗。距離の壁は如何ともしがたい。絶好調田原騎手でも昨年のワンダーの3着までが精一杯とみてズバリ消し！

今年から番組編成で、オークストライアルは本番までちょうど1ヶ月となり、最近好成績が顕著なチューリップ賞から桜花賞というステップとほぼ同じとなった。そこで私はトライアル組が非常に有利と考えた。1着馬が出ないのでその2、3着、そして本来なら桜花賞で1、2着となったかもしれないチューリップ賞組本番取消のエアとロゼ。この4頭で決まりだ。特に◎○は頭の子がエで一致して美しい。惜しむらくは1、2番人気となってしまいそうでおもしろくないこと。ところでビワハイジは何を考えているんでしょうねえ。関東の方では情報が無いかも知れないのでお知らせしますが、22日(水)の坂路調教の自動計測装置は故障しています。早朝の雷の影響を受けたとのこと。したがって坂路調教馬の時計が速くてもうのみにせず、しっかり調教ビデオを見て判断して下さい。さてみなさん、私が桜花賞の時に言っていたのを覚えていますか？オークスでは1枠が連対します。いや勝ってしまいます。サイン馬となったシーズアチャンスはスイトピー賞にも1枠で出走して見事1着。このままならオークス1枠のサインは消えたかと思っていたのですが、なんと同馬は本番に出走出来なくなってしまいました。これはもうオークスは1枠ですよとみんなに念を押すために出走したもののなのです。そうオークスは1本枠です。

実はカシのサインは他にもありましてそれは2枠と4枠です。どちらかという失格馬を出した不利を受けた1番人気馬がいた2枠の方が強いかな。

したがって枠連1-2、1-4が本線、あと5の目の1-5、1-6、1-1です。

上記の4頭がこれらの枠に入ってほしいと願う次第であります。

僕は牝馬G1に強いのだあー！！自己暗示で連敗脱出スルゾー

予想者 メニーフレン(ズ)

ぎりぎりに迷った末の義理本命であります

◎ロゼカラー

○エアグルーヴ

△エリモシツク、ナナヨストーム、ノースサンデー、ファイトガリバー、メイショウヤエガキ、リトルオードリー

結局、先週の高松宮杯はTP氏と全く同じ予想になってしまった。たまたま的中したからいいが、「孤独の本命」が本誌と同じ予想なんてはずれたらシャレにならないところだった。以後気をつけますから、TP氏も僕の真似しないでね。勝ったフラワーパークの馬主である吉田勝哉氏と初めて会ったのは、やはり社台のツアーの時であった。小柄な兄の照哉氏とは全然似ていない大柄のハンサムな好青年で、千歳のノーザンホースパークに将来宿泊施設を計画するなど競馬事業にかける夢を、素人の私にじっくりと語ってくれたのを思い出す。まずはおめでとうございます。

ところで、先日ある競馬週刊誌を読んでいたら、たまたま「高本公夫(故人)」という記事を見かけた。ここ数年、競馬サークルを離れていたもので、そういう情報には全く疎くなっていたので知らなかったが、あの一世を風靡した高本氏が亡くなっていたのですか。感無量である。いい加減な予想を教えたやくざに刺されて命を落したのだと思うが、どなたかその辺の事情をご存じの方、教えてください。

早速、オークスの件(最近、冒頭に予想とは関係ない話が続くことをお許し下さい)ですが、伝統的に社台の馬はオークスに勝負をかける傾向があります。僕の知っている馬だけでも、シャダイターキン、ダイナカール、ベガ、アドラーブルらがいます。しかしながら、1番人気が予想されるエア嬢は不確定(不安)要因が多々あるため、○まで。やはり、心情的にデイリー杯で大儲けさせてくれましたロゼカラーを本命にし、義理固くさせていただきます。

予想者 歯立てのフェラ

◎…エアグルーヴ

○…ファイトガリバー

▲…マックスロゼ ロゼカラー

宣 戦 布 告

最近のJリーグを見ていると頭が痛くなる。何だ、あのパープルサンガのだらしなさは。何だ、あのアビスパの情けなさは。彼らこそがJリーグの質を落としている張本人だ。彼らが今この場にいなかったら、Jリーグはもっとすばらしいものになっていたに違いない。これは入替え戦の存在しない世界が生んだ汚物にほかならない。

あえて言わせてもらおう。ジュワイヨクチュール、YO、君達2人は汚物だ。木馬会の汚物だ。我こそは素人予想屋であり、我こそは入替え戦を提案する。聞こえる、聞こえる、お前達が慌てふためく音が。響く、響く、お前達の泣き叫ぶ声が。今、日本経済は生保、損保の垣根がとれ自由競争の風が吹き荒れている。弱いものが倒れ、強いものが高笑いをする。この時代の波に飲み込まれそうなお前達に入替え戦という最後のチャンスを与えよう。勝負は、オークス、ダービー、安田記念の三本勝負。多くの中したものが勝ち、最低の成績を残したものが去る。勝負がつかなければ、我が立ち去る。逃げたければ逃げればいい。が、その時はお前の帰る場所などはない。

さて、実は木馬会会報に予想を載せたいという者がおりまして、今週より、予想者が1名加わりました。しかし、これは暫定的な処置であり、その時点での最低的中者との入れ替え戦として、GI3戦について予想してもらい、その的中数によって入れ替えを行おうと思います。YO氏は運良く高松宮杯を当てられたので、今回はジュワイヨクチュール氏との争いとなります。今後も予想したい者が増えるごとに入れ替え戦を行っていき、常に質の高い予想人を12名を限度に揃えようと思います。入れ替え戦の要領は以下の通りとします。

- ・入れ替え戦はその時点での最低的中者とGI3戦で争うこととする。
- ・入れ替え戦で敗れた者は半期間予想者に復帰できない。(半期:4月~7月、10月~12月)
- ・的中数が同数の場合、的中倍率で勝負する。それでも勝負がつかない場合はサドンデスで勝負する。
- ・お互いに1つもの中しない場合は現予想者の勝ちとする。

第57回 オークス

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
ロゼカラー	リトルオードリー	メイショウヤエガキ	マークリマニッシュ	マックスロゼ	ファイトガリバー	ハダシノメガミ	ノースサンデー	ナナヨーストーム	ナイスデザート	トウカイジャスパ	チアズダンサー	ソロシンガー	スガノビジン	シーズグレイス	キハク	カネトシシェーバー	エリモシツク	エアグルーヴ	ウエスタンスキャン	イキナオンナ	馬名
				△	△		△	◎								▲	△	○			TP
					▲			◎									▲	○			へなりん
		△		△	△		△	△						○			△	◎			トウインクルンディ
▲								▲									◎	○			四国の井崎
○		▲			△		△										◎	△		△	ハチロー
○	△	△			△		△	△									△	○			メーブルズ
◎					△											△	◎	△			ミスターX
	△	▲			△		◎	△										○		△	おけらくん
																					ナリノラッキー
																					ラッキー
△		△			△	△	▲	○										◎			YO
△					△		○						△				▲	◎			ジュワイオクチュール
▲				▲	○													◎			南立てのフェラ

TP	桜花	皐月	天春	安田	オークス	優駿	宝塚	天秋	菊花	エリカ	マイルC	J C	阪牝	朝日	スP	S	有馬	桜花	皐月	天春	NHKマイル	スP
TP					◎								◎									
へなりん																						
トウインクルンディ																						
四国の井崎																						
ハチロー					◎																	
メーブルズ						◎																
ミスターX					◎																	
おけらくん						◎																
ナリノラッキー																						
ラッキー																						
YO																						
ジュワイオクチュール																						
南立てのフェラ																						

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~